

家庭科 担当教員：

使用教材：教科書・ハンドノート（1年生）技術・家庭ノート（2年生）

【学習の目標と学習方法】

・衣食住に関する実践的・体験的な学習活動を通して生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

○授業について・生徒の皆さんに○	○家庭学習について○	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造 する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
<p>*授業は、教室と被服室、調理室で行います。実習が多い教科なので指示された持ち物は、忘れないようにしましょう。</p> <p>*授業は教科書やノートに記入したり、覚えなくてはならないことは授業中に覚えてしまうように授業に集中しましょう。</p> <p>*教科書、ノートはロッカーに保管して、テスト前に持ち帰り学習しましょう。</p> <p>*調理実習や作業は、指示を良く聞き安全に怪我なく楽しい実習・作業をしましょう。</p>	<p>*家庭の仕事を家族の一員として積極的に行いましょう。</p> <p>*食事や弁当づくりなど、自分の力で準備出来るようにしましょう。 (食べることは、生きていく基本です)</p> <p>○試験前はこのように取り組もう○</p> <p>*授業で行ったこと、説明したことを中心に出題します。普通の授業から、大切なことはチェックして、試験前にそれを覚えるようにしましょう。</p>	<p>衣食住や家族の生活について関心を持ち、これからの生活を展望して家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。</p>	<p>衣食住と家族の生活について見直し、課題を見つけ、その解決をめざして家庭生活をより良くするために工夫・創造をしている。</p>	<p>生活の自律に必要な衣食住と家族の生活に関する基礎的・基本的な技能を身につける。</p>	<p>家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的・基本的知識を身につけている。</p>
		<p>・授業、実技観察 ・提出物 ・作品 ・定期考査</p>	<p>・授業、実技観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査</p>	<p>・実技観察 ・実技テスト等 ・作品</p>	<p>・ワークシート ・定期テスト</p>

1年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	3 5 時間
	家族・家庭と地域 (3)	食事の役割 食生活の課題 (6)		栄養素の働き 6つの食品群 (3)		生鮮食品・加工食品 日常食の調理 (1 9)			衣服の働き 個性を活かす服装 (4)				
2年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	3 5 時間
	食品の選択 (3)	地域の食文化 食品の安全 (9)		快適な住まい・住まいの安全 住まいの中で役立つものを作ろう (タオルハンガー) (1 2)			消費生活 (1 1)						
3年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	1 8 時間
	これからの私と家族 (1)	幼児の心身の発達・特徴 幼児が喜ぶおもちゃ作り (布のおもちゃ)		幼児の生活と遊び		子供にとっての家族 (1 7)							